

平成二十八年度
社会福祉法人育成会 講演会
 ホテルハワイアンズ ラピータ
 平成二十八年十二月十日 (土)

福祉を取り巻く昨今の情勢は厳しさを増し、現在は社会福祉法の抜本改正や障害者総合支援法三年後の見直しの中で示された今後の取り組みについての方向に沿い、事業所や行政など関係者においては対応が急がれている。そのような中、厚生労働省社会保障審議会障害者部会委員で筑波大学教授の小澤温先生をお迎えし、「障害者総合支援法の今後と地域生活支援について考える」と題し講演会を開催した。

当日は、いわき市行政をはじめとし市内外の福祉事業関係者、法人役員、保護者から予定を上回る申込みがあり、職員も含め一四〇名あまりの



出席のもと盛大に開催することができた。

講演においては、今年度の厚労省障害者部会終了直後の内容を含めた直近の中央情勢報告があり、臨場感のある会議でのやり取りを聴く中で、これからの障害者福祉政策の方向を学ぶことができた。また、地域生活における支援者の役割や基本的な「支援」については、本人自らが学び成長することの大切さと、経験による学びを「意思決定・自己実現」に向けていく支援のあり方について多くをご教示頂き、支援すること、支える事を考え実践する上で支援者個々の基盤を再構築する講演であった。

平成二十八年度 社会福祉法人育成会
指導的職員研修

平成二十九年二月八日、平成二十八年度社会福祉法人育成会職員研修計画に則り、今年度最後となる「指導的職員研修」が、各事業所の課長以上全員二十二名が参加して開催されました。講師は当法人の監事である小野勇一氏です。日頃から温厚で控えめなお人柄から、職員に優しいお言葉を気さくにかけて下さる方ですが、内部監査では厳しくも温かいご意見や励ましを下さり、いつも法人運営を見守っていて下さいます。

研修では「明るい職場」と題し、ご自身の青少年期、現職時に現場で学んだこと、物語「橋のない川」が示すもの、



慈愛の心などについて、経験や苦労話や失敗談を交えながら、職場のあり方と幹部職員のあるべき姿を示唆して下さいました。

「一度口にした言葉は元には戻らない」

「人格を傷つける言葉は棘になる」

「覚悟を持ってこの職場に就職した筈、人の前にはそれぞれの橋があり、その橋をどんな覚悟で渡るかである」

「職場（集団・組織）を過不足なくまとめる立場にある者は、物事を客観的、全体的に見る目が必要」

「人の評価は自分自身が思っているより六〇七割である」

など、幹部職員はまず自身を見つめて振り返り、組織のリーダーとして働くには何が大切か、深く心に刻むべき教えをいただきました。

寄付のお礼

平成二十八年度にご寄付を頂いた皆様へ感謝の意を込め、お名前等を掲載させて頂きます。

五月十日 大津賀廣雄 様 十万円

五月十三日 いわき学園保護者会 様 五十万円

七月七日 桜の会代表蒲生珠美 様 六万円

九月二十六日 佐川靖子 様 三万円

十二月十六日 クレハ労働組合 様 十二万円

十二月十九日 熊谷繁治 様 十万円

十二月十九日 株式会社熊谷質店 様 十万円

一月七日 会田貞義 様 五千円

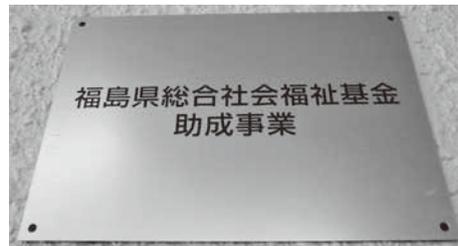
皆様からのご厚情は、今後の障がい者支援の中で大切に活用させていただきます。ありがとうございました。

平成28年度 補助事業報告

関係者の皆様、ありがとうございました！

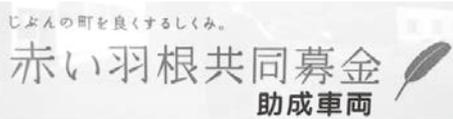
いわき光成園

公益財団法人福島県総合社会福祉基金様
(本館外壁塗装工事)



いわき学園

赤い羽根共同募金会様より助成
(マイクロバス)



いわき育成園

中央競馬馬主社会福祉財団様より助成
(厨房食洗器)



未来

今年の年末年始は実家に帰省しました。父母姉の家族4人が揃う正月は7年ぶりという事実に驚き、時が経つのは早いなあと思いを撫でながらしみじみ思いました。実家に着いて一息つき、女性陣で世間話をしながら、我が家流のおせち料理を作りました。居間からは、時々父の笑い声が聞こえてきたので、笑点でも観ていたのでしよう(娘調べでは父が大笑いするのは笑点だけ)。そして、器に盛りつけられた料理がテーブルに並べました。日本酒の入ったお猪口を片手に持ち、父が「お疲れさん」と言い、皆で乾杯。ここから昔話、盛り上がり、と昔話、けでなく、緊張らずのんびりと、あのころと同じ一家団欒の時間でした。食事中、誰かが思い出したように話し出し、一通り会話が続き、沈黙の中テレビの音だけが流れ、また誰かがぼつと話し出す。そんな雰囲気は落ち着きました。何百回、何万回と一緒にご飯を食べてきた仲だからこそ、なあと。社会人になり、改めて、より一層家族の安心感を味わえた正月となりました。

福島県知的障害者福祉協会 合同研修会へ出席して

平成29年2月16～17日
＜磐梯熱海温泉 ホテル華の湯＞

△。同研修会に参加して、
作山茂久

2月16日から2月17日まで、二日間、那珂に、
行ってきました。福島県、県内の知的障害者福祉
合同研修会に参加して、人権、本人活動の、
でんせつ、を学びました。二日間は、とても有意
義な研修会でした。お人は、シンポジウム、レク
ション、など、充実した内容でした。お話を聞い
て、とても楽しい二日間でした。



平成29年2月16日～17日にかけて、磐梯熱海温泉 ホテル華の湯で研修会が開催され、シンポジストとして、いわき学園利用者自治会書記の作山茂久さんが出席しました。「ピープル・ファーストを考える」をテーマに、現在通っている施設の紹介や将来の事など自分の思いを堂々と伝えてきました。

本人活動支援事業

エコキャップ収集活動

第13回納品 2016.12.8(木)

納品内容受領書は12月19日にエコキャップ推進委員会より届きました。

育成会の4事業所(いわき学園、いわき希望の園、いわき光成園、いわき育成園)の利用者自治会が収集活動を行い、今回納品したエコキャップ(ペットボトルキャップ)の数は、

総重量

400kg

個数

172,000個

これで1回から13回までの合計は1,678,790個となり二酸化炭素の排出量を12,470,85kg抑えることが出来ました。また、エコキャップは再生プラスチック原料として換金し、世界各国へのワクチン支援へ繋がっています。

今後も、ワクチンを届けるために収集活動を頑張りますので、皆様ご協力をお願い致します。



作：いわき学園 坂本清美さん

一人暮らし 高齢者のお宅訪問



3月3日(金) いわき学園といわき光成園が合同で下船尾町におひとりで住まわれている高齢者のお宅を両事業所の利用者さん2名が民生委員さん2名の方々と共に訪問してきました。

桃の節句に因んで桜餅と季節に合わせたお弁当などをお渡ししたくさんお話をして親睦を深めることができました。

編集後記

今年度の会報誌ゆうゆうはいかがだったでしょうか？会報誌の他、社会福祉法人育成会ではホームページで各施設の最新情報を随時更新しています。紙面だけでは伝わらない情報が垣間見えると思います。皆さんお気軽にアクセスしてみてください。
<http://www.ikuseikai.com>